

第5回策定委員会

第5回 中標津町都市計画マスタープラン 策定委員会 議事録

◇開催日時：令和2年1月31日（金）14時00分～15時30分

◇開催場所：中標津町役場 3階301号会議室

◇参集者：委員23名中 16名出席

（欠席者：小林委員長、長渕委員、田村委員、村元委員、西町・川西街づくり協議会、飯野委員、遠藤委員）

1. 開会

（天野課長）

それでは定刻を過ぎましたので、第5回中標津町都市計画マスタープラン策定委員会を開催致します。

本日はお忙しい中、足元の悪い中、たくさん委員の皆様にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の進行役を務めます、都市住宅課の天野と申します。宜しくお願い致します。

2. 出欠の確認

（天野課長）

本日は昨日からの悪天候により小林委員長が出席できないという事で、委員会設置要綱第5条第3項に基づき副委員長が代理することとなっておりますので、本日は佐々木副委員長にお願いしたいと思います。

本日の委員会の開催につきましては、委員の半数以上の出席がございますので、会議が開催できることをご報告させていただきます。

それでは議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。本日は事前にお送りした資料のみでございます。

それでは早速議事に入りたいと思います。

3. 議事

（天野課長）

議事の進行につきましては佐々木副委員長により進めていただきますので、よろしくお願いいたします。

（佐々木副委員長）

佐々木です、どうぞ宜しくお願い致します。昨日からの雪の影響で除雪が大変だと思いますけれども、本日は出席いただきましてありがとうございます。

小林委員長は名古屋にいるって話ですね、これから札幌に飛んで明日またフォーラムが中標津でということです。

本日は、どうぞ皆様のあたたかい目で進行させていただきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

では早速議事に入ります。

まず「(1)対話の場②の開催結果について」「(2)計画案について」について事務局に説明していただきたいと思います。

(1) 対話の場②の開催結果、計画案について

①対話の場②の開催結果について

<㈱ドーコンより資料に基づいて説明>

②計画案について

<㈱ドーコンより資料に基づいて説明>

<意見交換>

委員からの意見

テーマ	分類	意見
全体	2-5 都市整備の基本方針	対話の場など協働を進めることを各章で記述してほしい（協働が基本であることを忘れないように）。
全体	2-5 都市整備の基本方針	水と緑の環境方針については、単純な緑ではなく、酪農、営農など営みの景観であることを強調する。
全体	2-6 長期的な都市の構造づくり	共生する都市づくりに、人（外国人）との共生社会の視点を加えてはどうか。
全体	協働のまちづくり	実際に協働のまちづくりを実施できているかというできていない。行政がすべてやってくれるという発想を変えてもらう必要があり、それをきちんと計画の冒頭に記載するべきである。
全体	協働のまちづくり	身近なところから危機感と協働の在り方をイメージしてもらうことが重要である。（例：ゴミ出しのルール、除雪サービス）
全体	協働のまちづくり	しらかば町内会の取り組みなど地域で先進的に取り組んでいることを紹介するといいい。
全体	協働のまちづくり	今後も意見交換の場を作ることが重要である。
全体	協働のまちづくり	協働と対話は各章で述べたほうがよい。
全体	ツボマップ	ツボマップの”ツボ”をひらがなにするかカタカナにするかは検討が必要である。ひらがなよりカタカナのほうがイメージしやすい。
全体	ツボマップ	できるだけ具体的な言葉を書き込みたい。
全体	ツボマップ	サポート体制については、まちなかに限らない。まち全体のこととしてツボ2に記述してはどうか。
全体	ツボマップ	開陽、武佐などの集落でも、小さくても集まれるツボがあるのではないか。
全体	ツボマップ	以前の策定委員会などで出てきた意見がまだ入っていないのではないか。
全体	ツボマップ	都市マスは長期計画なのだから”検討します”ではなく、”実現します”にするなど強気に書くべき。
全体	ツボマップ	学校の誘致のほか、子供の教育の要素を計画に入れてはどうか。
ツボ1	①しるべつと広場など既存施設を活用した賑わい・交流の創出	まちなかでインターネットにつながれるようにするといいい。（例：フォトコンテストで撮った写真をすぐにアップロードできるなど）
ツボ1	②市街地内の回遊性を高める歩行者ネットワークの整備	東一条橋から伝成館につながるルートの中標津町のメインストリートにするなど、歴史と発展のストーリー性をまちなかに持たせることが必要である。（例：灯籠を飾る）

テーマ	分類	意見
ツボ1	②市街地内の回遊性を高める歩行者ネットワークの整備	人が集まるところがまちなかであり、歩かない人を歩かせるには歩きたくなる動機付けが大切である。
ツボ1	②市街地内の回遊性を高める歩行者ネットワークの整備	一条通を歩行者天国にする（焼き鳥、ファーマーズマーケットなど）
ツボ1	②市街地内の回遊性を高める歩行者ネットワークの整備	旧国道を時間限定で歩行者天国にする。
ツボ1	③遊休不動産の活用や起業・出店支援	遊休の場があるから起業・出店するわけではない。人と人とのつながりや場の雰囲気が決め手となる。
ツボ1	その他	道営住宅の自治会館をしらかば町内会で使っており、道営住宅がなくなれば地域の拠点がなくなってしまい、住宅供給の問題も出てくる。
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	既存施設を使って、地域ごとに拠点を作ることが必要である。
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	交流拠点をどこにするのがいいか検討が必要。（例：学校、町内会館などの既存施設、コミュニティ施設の新設など）
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	今ある拠点を生かして、連携したり、使いやすくすることが重要である。（例：しるべつと向かいにある中標津町 共生型交流センター、ぷらっと茶フェなど）
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	多世代交流ができる場所が必要である。
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	まちなかに高齢者が集まれるところがあるといい。
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	孤立した人が地域で一人にならないように、高齢者、子ども、障がい者が一緒に過ごせる場が必要である。
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	居住地ごとにたまり場があるといい。中標津に戻ってきた人が建物をリノベーションしたカフェ（ヒゲトハナウタ）が人が集まる場になっている。
ツボ2	①子どもから高齢者まで一緒に集える交流・防災の拠点づくり	（仮称）町民活動センターはツボ1にもツボ2にも関係するので整理が必要である。
ツボ2	その他	人の支えあいを進めるために名簿を作ることも必要である。（町内会未加入の人の問題）
ツボ2	その他	町内会の加入率アップにつながる施策はないのか。

テーマ	分類	意見
ツボ 3	①既存の公園を活用し、町内外から人を呼ぶ交流拠点づくり	丸山公園の利用について、歩いていくには不便であり解消することが必要である。
ツボ 3	①既存の公園を活用し、町内外から人を呼ぶ交流拠点づくり	身近な小規模の公園も含めて活用方針など整理することが必要である。（東7条公園、お墓場公園など）
ツボ 3	①既存の公園を活用し、町内外から人を呼ぶ交流拠点づくり	役場跡地（東7条緑地）をもっと有効活用してほしい。
ツボ 4	①関心は高いが使われない公共交通の状況を変える	公共交通を全面廃止してすべてデマンド化するなど、利用促進という弱い対策ではなく発想を変えることが必要である。
ツボ 4	①関心は高いが使われない公共交通の状況を変える	実際に使ってみようとして、不便なところを洗い出し、利便性を高めることが必要である。
ツボ 4	①関心は高いが使われない公共交通の状況を変える	観光客も公共交通を使って良いだろう。観光交通の取組についても入れてはどうか。
ツボ 5	①伝成館周辺の保存・活用	伝成館の利用を進めるため補助金があってもいい。野の花の会で活用しているがトイレが有料など制約がある。
ツボ 5	①伝成館周辺の保存・活用	伝成館以外の資産も位置付けてはどうか。
ツボ 5	②景観まちづくり活動の実践	暮らしの営みを反映した景観の大切さを強調すべきである。
ツボ 5	その他	ツボ 4 と 5 が逆順に記載されている。不整合を修正すること。
ツボ 6	①中標津空港をまちの生命線として維持・活性化	北方領土を結ぶ空港として中標津でも PR することが重要である。（釧路や女満別もその座を狙っている）
ツボ 6	①中標津空港をまちの生命線として維持・活性化	役場の出先機関や公共的施設を立地させて、空港でも住民票が取れるなどのサービスがあるといい。
ツボ 6	①中標津空港をまちの生命線として維持・活性化	空港に人が集まる施設があるといい。（例：ショッピングモール）
ツボ 6	①中標津空港をまちの生命線として維持・活性化	空港でしか食べられないもの、買えないものがあるといい。
ツボ 6	②中標津の魅力を伝える発信機能・案内機能の強化	中標津アプリを開発して、SNS の利用で情報を発信する。
ツボ 6	②中標津の魅力を伝える発信機能・案内機能の強化	道の駅のような、町の中に観光情報を PR するところがない。
ツボ 6	②中標津の魅力を伝える発信機能・案内機能の強化	観光客と町内の高齢者や子供が触れ合い、町民自らが観光の案内をする場所があると良いのではないか。
ツボ 7	①魅力ある暮らしやすい環境整備	公園の整備をしっかりと打ち出してほしい。（正美公園は都市計画公園ではないが、活用も検討することが必要）

テーマ	分類	意見
ツボ7	②街づくり協議会による地域 一体となったまちづくり・ひ とづくり	農業高校の産品を買える場所があるといい。

意見交換の内容 (Aグループ)

全体

今更際 協会の役割、
まちづくりを
協働でできる?

町内会 ... 出しの利用
除雪などのサービス
生活と一体

行政が 考え万と 身元をこわし
変えてもらうと イメージが
モトのイメージ (危機感+積極)

「らび」 意見交換の
町内会 場をつくる。
の取組の紹介

つば 1

道管住宅の 地域の 住宅どうある
自治会館と
しりば町内会
で使っている

東一条橋 伝成館 中標津の
など歴史の につなげる Xインストラ
(灯台) ルート に
ストーリー性
を 持たせる
(歴史 発展)

つば 2

各地域に
どこか 拠点
をつくる (既存例)

まちなかの
高齢者が
あはれらる

今更拠点
E活の環境
(しりば向かいの
障害者施設)

多世代交流
が 出来る場所

ちわん 孤立した人
今更のE 地域で1人
使われる E5をいよりに

高齢者と
子どもと
降か

人の支えあ
名簿をとり
(町内会入会者名簿)

つば 3

まちなかの
E活の環境
(しりば向かいの
障害者施設)

多世代交流
が 出来る場所

ちわん 孤立した人
今更のE 地域で1人
使われる E5をいよりに

高齢者と
子どもと
降か

人の支えあ
名簿をとり
(町内会入会者名簿)

つば 4

公園
利用促進と緊急時
の対応
全 町民化

使った
不便なところ
減らさる

共感とつながる

つば 5

のの花の
会 活用
(しりば向かい)

つば 6

のの花の
会 活用
(しりば向かい)

つば 7

公園
正美公園
は 都市公園
じゃない?

意見交換の内容 (Bグループ)

全体	2-5 高所整備 の基本方針は 詳細な設計と 協働を進めよう 前提として良い	場所と対応は 各案ごとのへ?	水と緑 → 歩道と緑地 間の農、商業 用途と水と緑 距離間	2-6 長期 → 21年までの → 人(歩道)の 民生社会の 視座加えては	つぼ? ↓ ツボ?			
手な	1	人が集まる ところがあるか	歩かない人を どうやって歩かせ る? ↓ 歩道がなくなる 動機? 1. 歩道	一歩道を 歩行者天国に (セパレート フェースアップ ...)	旧園庭を 時間限定で 歩行者天国に	遊休の場が あるか? ↓ 起來本居社 わけではない	人とのつながり 場の関係員が きめ手	できるだけ 具体的に こぼれを 書きこみたい
地域	2	居住地ごとに 区別する あるとよい	ヒートマップ ↑ リノベーション あるとよい		サポート体制 ↓ 手全体に (ex. 7月2)			
公園	3	役場と他の 公園と区別 あるとよい						
歴史 景観	4	暮らしの営みを 反映した景観の 大切さを強調						
公共施設	5							
	6	役場の出入 公共的施設 立地	空室でも 住居業と出ると よい	空室は人が 集まりやすい (ショッピング)	空室は人が 集まりやすい (ショッピング)			
	7	観光客の 滞在を促す	歩道、水辺 と公園、水辺 集まりやすい と関係性					

意見交換の内容 (Cグループ)

全体

- 2-5 都市整備の基幹を軸に河川環境を協働で進めたい前提といいたい
- 飯沼町は各町とのへて
- 水と緑 → 緑地を確保して農産物と水とを連携
- 2-6 長期 → 単独で都市づくり → 人(人口)の定住社会の視座を加えては

つぼ？
↓
ツボ？

できるだけ具体的なことを書きたい

サポート体制 → 全体に (ex. 7, 8, 2)

手ぶな

1

- 人が集まる場所がどこか
- あかぬい人をどうも歩かせたい ↓ 歩道(既存) 動線づくり
- 一条道を歩行者天国に (キートン、フェーズシフト...)
- 旧団地を時間配地化 歩行者天国に
- 遊休の場所があるから 起業者を呼び付けたい
- 人々とのつながりの密度がきめ手

地域

2

- 居住地ごとに「たまり場」あるといい
- ヒート・ノック ↑ リノベーションして集まる場

公園

3

- 現場と他の公園活用はいいものを活用

歴史

4

- 暮らしの営みを反映した歴史の大切さを強調

公共施設

5

6

- 現場の歩道 公共的施設と並ぶ
- 空境でも住民と共有したい
- 空境に人が集まる(シェアリング)
- 空境をしか 金銭的な価値がないもの

7

- 農業高校の産物と買いたい
- 用陽、武佐とかも小売店集まる小売があるのでは

(2) 来年度の検討の進め方について

<㈱ドーコンより資料に基づいて説明>

(佐々木副委員長)

来年度のスケジュールについて説明がありましたけれども、非常に早くて、あと1年となりましたがよろしくお願ひします。それについて何か質問あればお願ひします。

(天野課長)

皆さん大変お疲れ様でございました。まず、まちづくりフォーラムについて事務局の方から話をさせていただきたいと思ひます。明日まちづくりフォーラム 2020 ということで1時半から寿宴さんで行います。誰もが安心して住み続けられる持続可能なまちづくりに向けて町内会など地域コミュニティの在り方について町民の皆さんと一緒に考え、多くのご意見をいただくということで、フォーラムを開催するという事になっていて、町民の皆さんと意見交換するほか、静岡県掛川市から講師をお招きしまして、協働によるまちづくりについてご講演いただくという内容となっております。参加締め切りは過ぎておりますが、申し込み忘れたという方はぜひ参加していただき、できれば掛川市から来る栗田さんの講演だけでも聞きに来ていただければと思ひます。

その後、第2部でグループディスカッションもご用意していますが、そこにもお時間があれば参加できるようにしますので、是非とも明日1時半に寿宴でお待ちしておりますので、申し込み忘れたという委員の方いらっしゃいましたらきていただければと思ひます。以上です。

(佐々木副委員長)

私も実行委員と関係していますので、先ほど参加される方を把握しました。総勢で、1部2部含めると82名参加します。内訳しますと、役場職員が15名消防含めると18名ほど、町議さんが6名、策定委員8名、高校生3名、一般36名という形になっています。

策定委員が今日出ている方がかなり出られないということで、この日程を決めるときに土曜日の昼からが良いと策定委員の中で決めましたが、残念ながら参加できないということで、これからもこのプロジェクトチームでやっていかななくてはならないがこれでは少し心配に思ひます。

このままでは行政とドーコンさんで計画が出来上がって終わりという形になるかもしれません。皆さんぜひ参加していただければ。がんばっていただきたいなと思ひているのでよろしくお願ひします。

(委員)

お茶出るって言いましたね。

(佐々木副委員長)

お茶はでます。お茶も手作りのお菓子も出す予定となっていますので、ぜひぜひ今からでも間に合うかもしれませんのでよろしくおねがいします。

4. 閉会

(天野課長)

佐々木副委員長、議事進行ありがとうございました。委員会の終了にあたりまして、もう一人の副委員長である館下副委員長からご挨拶いただいて終了ということにしたいと思っています。

(館下副委員長)

策定委員の皆様本日はご苦勞様でございます。雪の中、そして貴重な時間を費やして頂きまして、このようなドーコンさんにまとめてもらったツボも改めて検討したところがございます。色々まだまだ忘れていたり抜けていることが多分あると思いますので、次回またこの資料に沿って追加などをしていただければいいなと思っています。

明日のフォーラムですが、私も出席を出していなかったんで顔は出したいなと思っています。

小林先生今日は見えなかったんですけど、小林先生のご意見をいただきながら進めていかなければならないと思っていますし、対話というのも大切ですので、もっと町民の意見をどんどん入れていきたいと思っていますので、もし時間がありましたら町民からこんなことやっているのだということを問いかけて、新たなご意見を拾っていただければ、この計画が良い計画になっていくのではないかと考えています。

これからもご協力いただきながら皆さんとがんばっていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

以 上